学校番号	313

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２位	年次	３年次
使用教科書	化学　Vol.1 理論編　Vol.2 物質編　（東京書籍）						
副教材等	ニューアチーブ化学（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学は物質を対象とする科学であり、観察・実験を通して、物質の構造や性質、反応を調べることにより物質の特徴を理解して原理・法則を見いだし、物質を利用したりつくり出したりするのが特徴である。授業では化学基礎で習得したことを意識しながら、体系的な知識と理解を得て欲しい。また、日常生活や社会に物質の性質がどう生かされているかも意識して学習してもらいたい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　酸化・還元および有機化合物についての実験などを通して、その基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
　酸化・還元および有機化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。
【学びに向かう力、人間性等】
酸化・還元および有機化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学とその役割に関して具体的物質や社会との関連についての概念や原理・法則を理解し、それらを新しい事象の解釈に応用するための基礎的な知識を得る。	観察、実験あるいは事実の分析を通じて、論理的に考察して問題を解決し、得られた結果を表現することができる。	実験、実習を通して物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	酸化還元	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・酸化還元反応の応用	a: 物質の探究をするために、酸化還元という概念に関する知識を身につけている。 b: 酸化還元に関する基礎的な知識をもとに、身近な電池などの仕組みの理解につなげる。 c: 酸化還元反応により今後どのような技術が発展し、どのような社会が実現可能であるか探究する。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート
2学期	有機化合物	・有機化合物の特徴と分類 ・脂肪族化合物 ・芳香族化合物	a:有機化合物に関する基礎知識を身につけている。 b:有機化合物に関する実験や観察を行い、得られる結果から考察し、的確に性質や構造を判断できる。 c: 有機化合物の反応や現象に関心や探究心を意欲的にもつ。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート
3学期		・天然高分子化合物	a: :身近にある物質に関する性質や現象について理解し、基本的な知識を身につけている。 b: 実験や観察から得られる結果から身近にある物質を考察し、的確に性質や構造を判断できる。 c:２学期に身に付けた基礎知識を身近にある有機化合物に当てはめ、事象や現象に関心や探究心をもつ。	定期テスト 確認テスト	定期テスト	提出ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度